

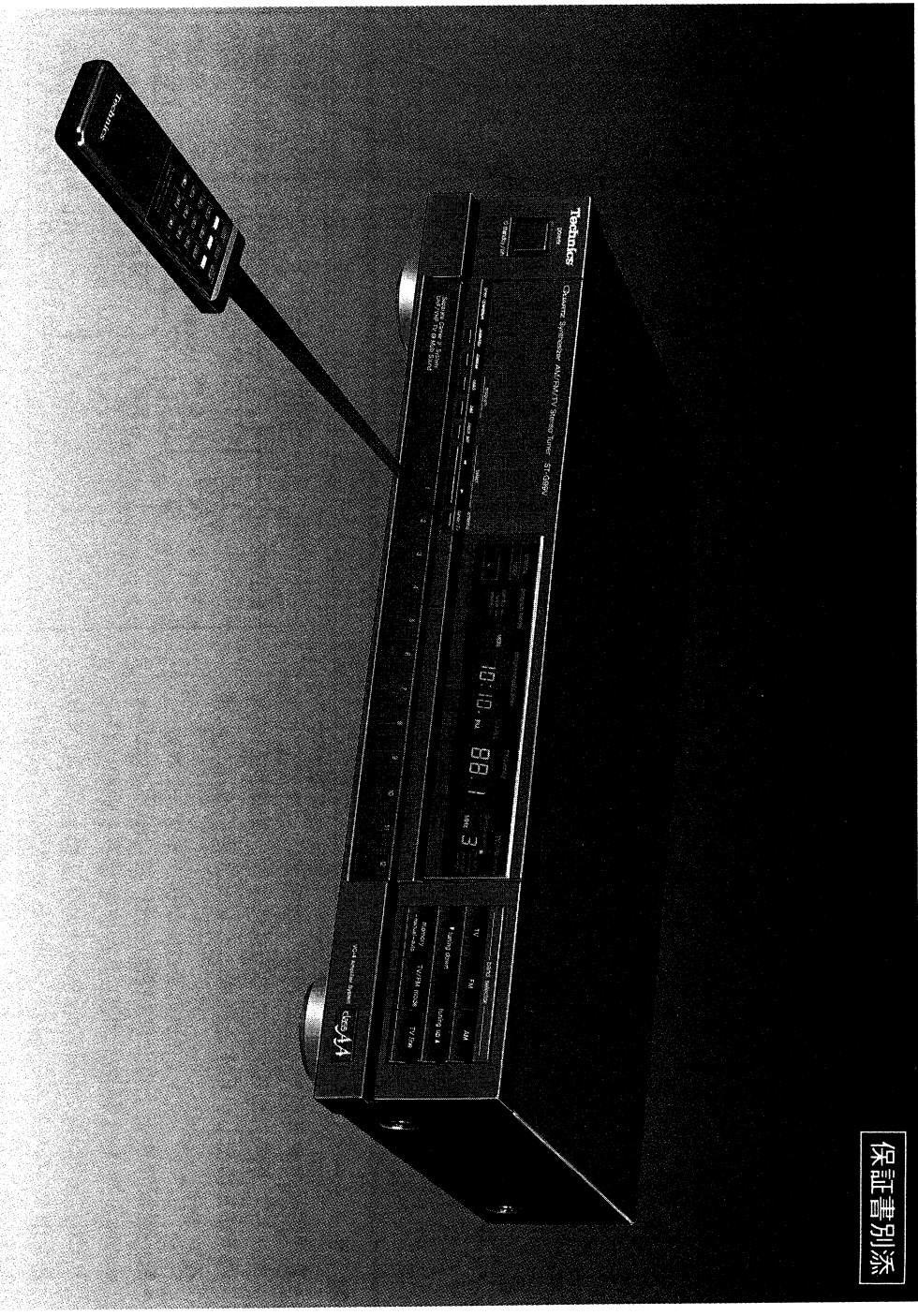
# Technics

クォーツシンセサイザ  
AM/FM/TV ステレオチューナ

品番  
**ST-G99V**

取扱説明書

保証書別添



■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。その後大切に保管し、わからないとき、もう一度お読みください。

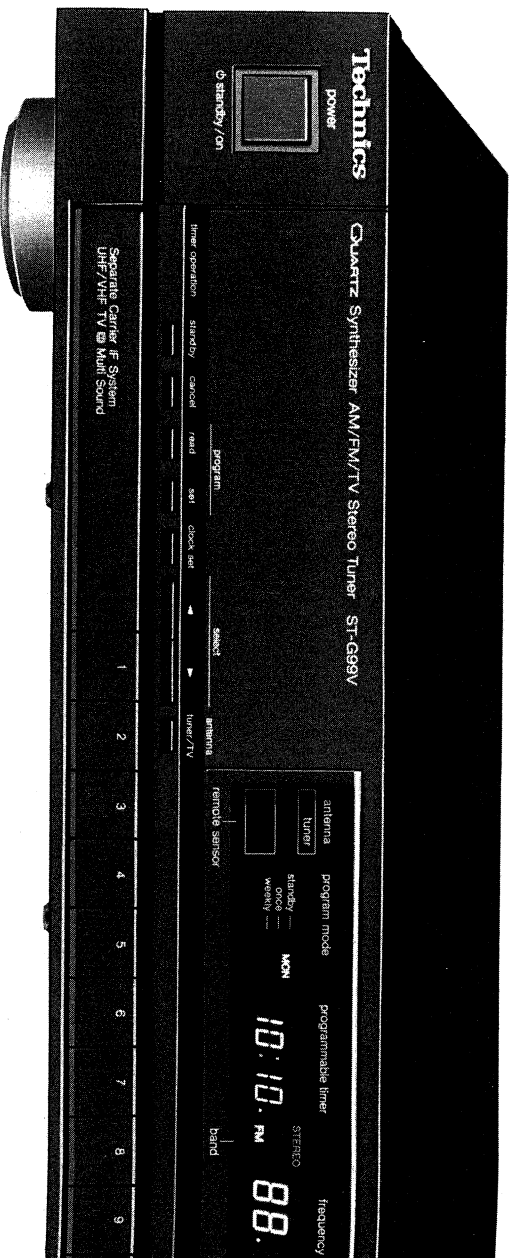
■保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

## 目次

- 特長..... 2
- 付属品..... 3
- 安全にご使用いただくために..... 3
- 接続のしかた..... 4
- 各部のなまえとはたらき..... 6
- 時刻を合わずには..... 8
- 放送局をメモリー（記憶）するには..... 9
- テレビ/FM/AM を楽しむには..... 10
- タイマーの使いかた..... 12
- リモコン発信器について..... 14
- 定 格 ..... 15
- アフターサービスについて..... 15
- 手入れについて..... 15
- 故障!? と思うまえに..... 裏表紙

上手に使うって上手に節電——  
音量は必要以上に大きくしないで/ご使用後は、忘れずに電源を切って/

このたびは、テクニクスのクォーツシンセサイザ AM/FM/TV ステレオチューナをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

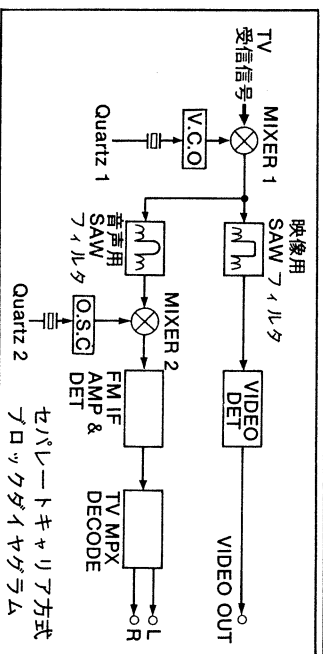


# 特長

## TV/FM/AM それぞれに音質を重視した回路設計

### ■ TV チューナ部

- 音声信号を映像信号と別に検波・増幅する「セパレートキャリア方式」を採用。この方式により、映像同期信号の干渉を防止し、FM と同様にテレビ音声を高品位に再生します。
- 鋭い選択特性と平坦な位相特性を持つ、SAW (surface acoustic wave : 弾性表面波) フォルダを音声と映像回路それぞれに搭載。より正確に信号成分を取り出し、高 S/N 比を図り、ダイナミックレンジ 96dB を実現しています。



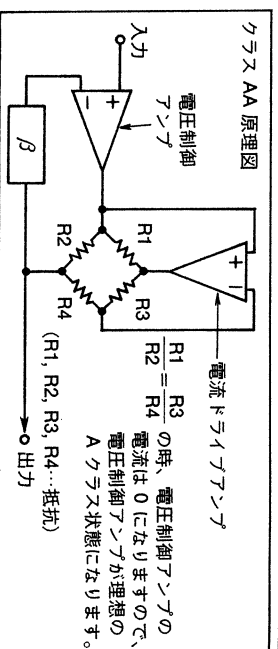
### ■ FM/AM チューナ部

- フロントエンド部の RF 増幅素子、混合素子に、4 極 MOS FET を採用  
 混変調、相互変調特性を改善し、妨害波排除力を高め、多局化する FM 受信に威力を発揮します。
- FM IF 部にはバルク波群遅延平坦型セラミックフィルタを採用

- 選択度特性と位相特性の両立を図り、高忠実度再生を実現しています。
- AM チューナ部には、4 素子ラダータイプセラミックフィルタを搭載  
 通過特性の良いフィルタにより、音質の良い AM 受信が可能です。

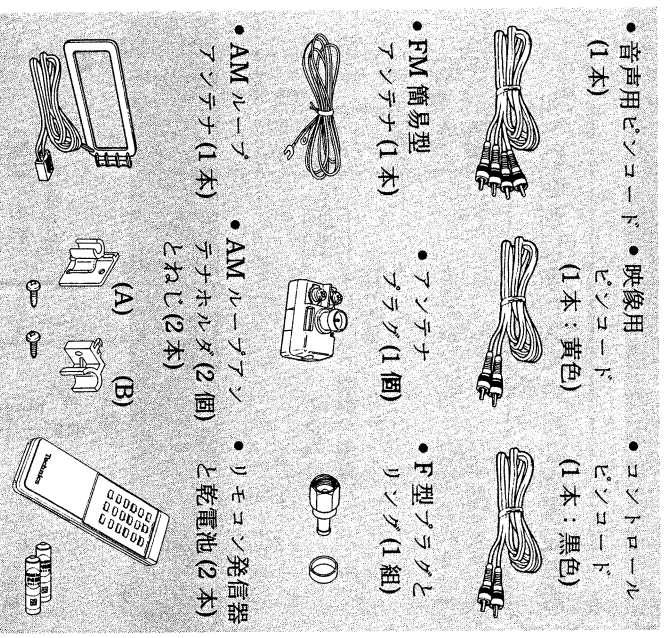
### ■ 出力ポストアンプに“class A”回路搭載

これは、従来の電圧増幅、電流増幅を直列に接続し、動作させる方式と異なり、専用の電流ドライバアンプを設けることにより、電圧増幅を理想の A クラス状態で行うもので、出力側に接続されるコード、アンプなどの負荷の影響を受けず、実使用状態で高品位再生を実現するものです。



# 付属品

(P.4, 5, 14 ページ)



## RFコンバータ内蔵

モニターテレビなど、映像入力端子付テレビの場合は、本機の映像出力端子で、また映像入力端子が無い場合には、本機に内蔵のRFコンバータにより、音声はチューナーで、映像はテレビで切り換えるわずらわしさがなく、本機のみで操作で音声と映像が同時に切り換えることができます。お手持ちのテレビとオーディオシステムを組み合わせて迫力あるオーディオ/ビジュアル(A/V)の世界をお楽しみください。

## その他便利な機能

- TV/FM/AM 各 12 局メモリー  
お好みの放送局をすばやく選局できます。
- マルチプログラミングリモートコントロール  
電源の入・切やチャンネルの切換えなどが離れた場所からコントロールできます。
- エアチェックに便利なプログラムタイマー  
「once」(1回)、「weekly」(毎日/平日のみ/週1回毎週任意の曜日)と、自由にプログラム動作がセットできます。

## 安全にご使用いただくために

### ■電源関係のご注意

- 電源は、AC 100V に接続してください。
- 電源コードは、プラグを持って抜いてください。ぬれた手は危険です。また、電源コードの上に重い物を載せたり、コードを無理に曲げないでください。

### ■設置場所のご注意

- 次のようなところは避けてください。
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光のあたる場所など、温度が高いところ (キヤビネットや部品をいため寿命を短くします。)

### ■改造・接触などのご注意

- 改造は事故のもとです。(感電や故障の原因になります。)
- 特にお子様にご注意ください。(すきまなどから金属物を差し込むと、感電や故障の原因になります。)

### ■薬品・水などのご注意

- アルコールや、シンナーは禁物です。(塗装がはげたり、くもりが生じます。)
- スプレー式の殺虫剤にご注意ください。「ヒビ割れ」や「くもり」、また引火の恐れがあります。)
- 水は禁物です。(火災や感電の恐れがあります。)

### ■使用後のご注意

長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグを抜いてください。(思わぬ事故につながる恐れがあります。)

### ■万一、故障が起きたら

ただちに電源プラグを抜き取り、お求めの販売店にお問い合わせください。

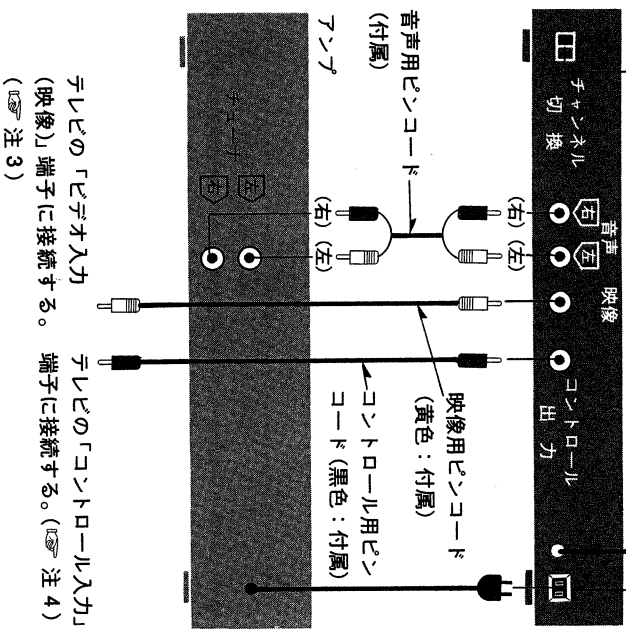
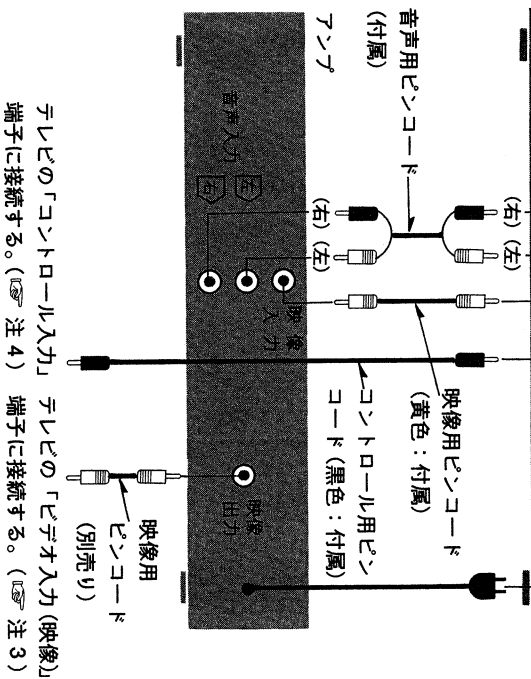
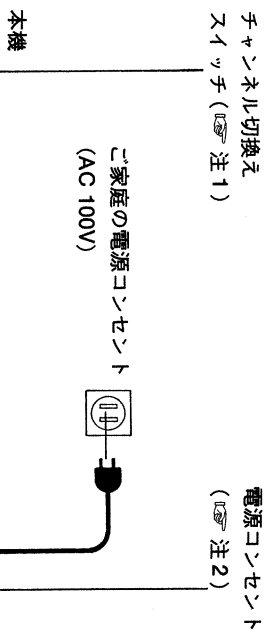
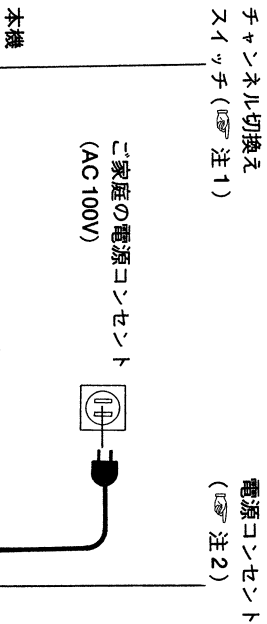
# 接続のしかた

アンテナなどと接続するには

ご使用のアンテナに応じて、次のように接続してください。

## 映像用端子のあるアンテナをご使用するとき

## 映像用端子のないアンテナをご使用するとき



### 注

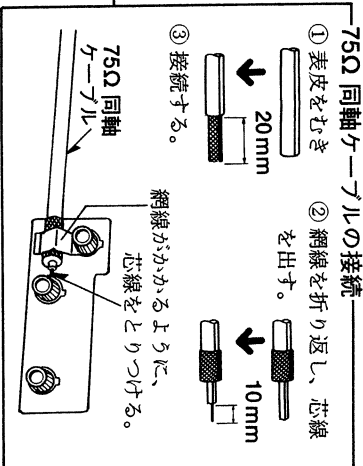
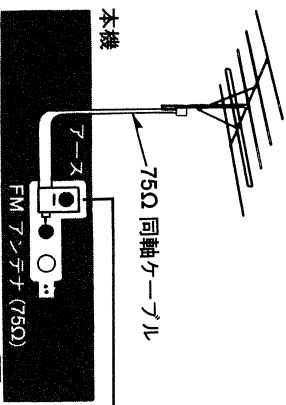
- 「ビデオ入力 (映像)」端子のないテレビと組み合わせる場合 (注3)、「チャンネル切換えスイッチ」をテレビの空きチャンネル (「CH1」または「CH2」) に合わせて、切り換えてください。
- 電源コンセントには、980W までの音響機器が接続できます。各機器へは本機の電源スイッチに連動して通電します。

- 「ビデオ入力 (映像)」端子がない場合は、アンテナの接続のみ行ってください。(右ページ)
- ナショナルのモニターテレビと接続します。(11ページ) 接続できるモニターテレビ: TH-33M1, TH-21M1, TH28-DM10, TH24-FM10 (昭和 62 年 5 月現在)

## FM アンテナを接続するには

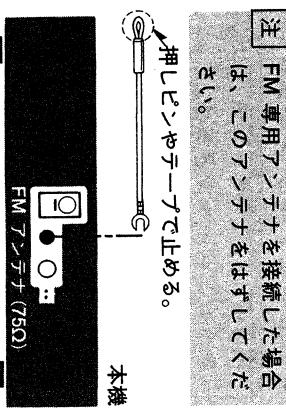
### FM 専用アンテナ

山間部や鉄筋ビル内など、電波の弱い地域では必要です。



### 簡易型アンテナ (付属)

最も雑音の少ない高さや向きを探して、壁などに貼る。

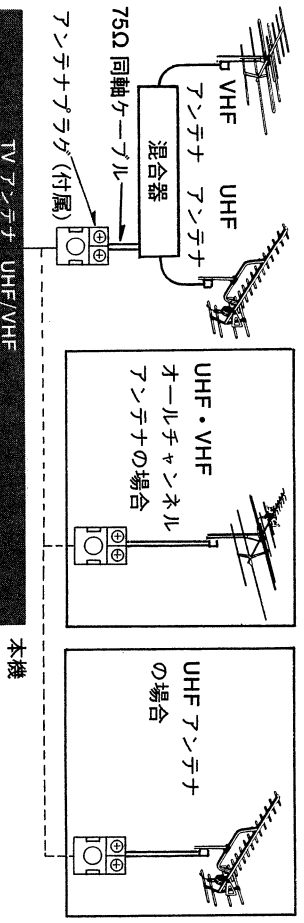


■ビデオデッキを接続するとき：  
アンテナからの同軸ケーブルに分配器を接続し、分配器と本機およびビデオデッキをアンテナコードで接続します。

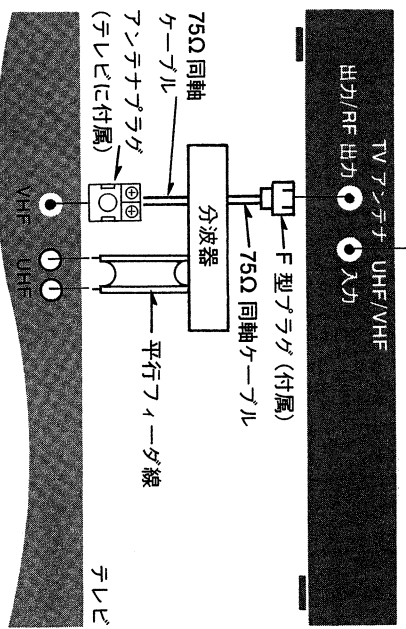
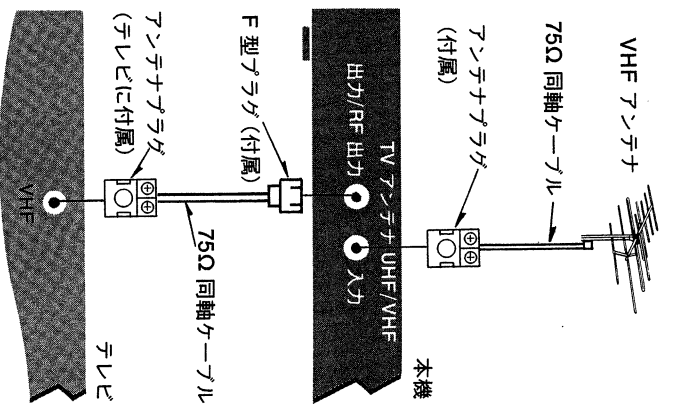
## TV アンテナを接続するには

ご使用のアンテナに応じて、次のように接続してください。

VHF と UHF アンテナを同時に、または UHF・VHF オールチャンネルアンテナ、または UHF アンテナのみご使用のとき



VHF アンテナのみ  
ご使用のとき



注 同軸ケーブルなど、付属品以外のもは別売りですので、お問い合わせください。

## プラグの取り付け方

■ F型プラグ

- 75Ω 同軸ケーブルの先端処理をする。  
(P.4 ページ)
- リングをはめ、F型プラグを差し込み、リングをペンチで締めつける。

■ アンテナプラグの場合

- 75Ω 同軸ケーブルの先端処理をする。  
(P.4 ページ)
- アンテナプラグを取り付け、ケーブルの内側に収納する。  
芯線をさしこみ、巻き付ける。
- 同軸ケーブルを取り付ける。リングを取り、ケーブルの内側に収納する。  
芯線をさしこみ、巻き付ける。
- ケーブルのつめを内側に押し、カバーを外す。  
カバーのつめ
- ねじを締めつけ、カバーを取り付ける。
- ねじをゆるめる。  
フライバー

■ 平行ワイヤ線の場合  
10mm

平行ワイヤ線の場合、取り付けた後、締めつける。

## AM ループレアンテナ (付属)

最も雑音の少ない、高さと向きを探して、壁や本機などに取り付ける。

注 このアンテナを接続しないと AM 放送は聞けません。屋外アンテナを接続した場合も必要です。

## 屋外アンテナ

山間部や鉄筋ビル内など、電波の弱い地域では必要です。  
5~12メートルの屋外アンテナ (ビニール被覆線) を窓際などへ水平に設置する。

ビニール被覆線

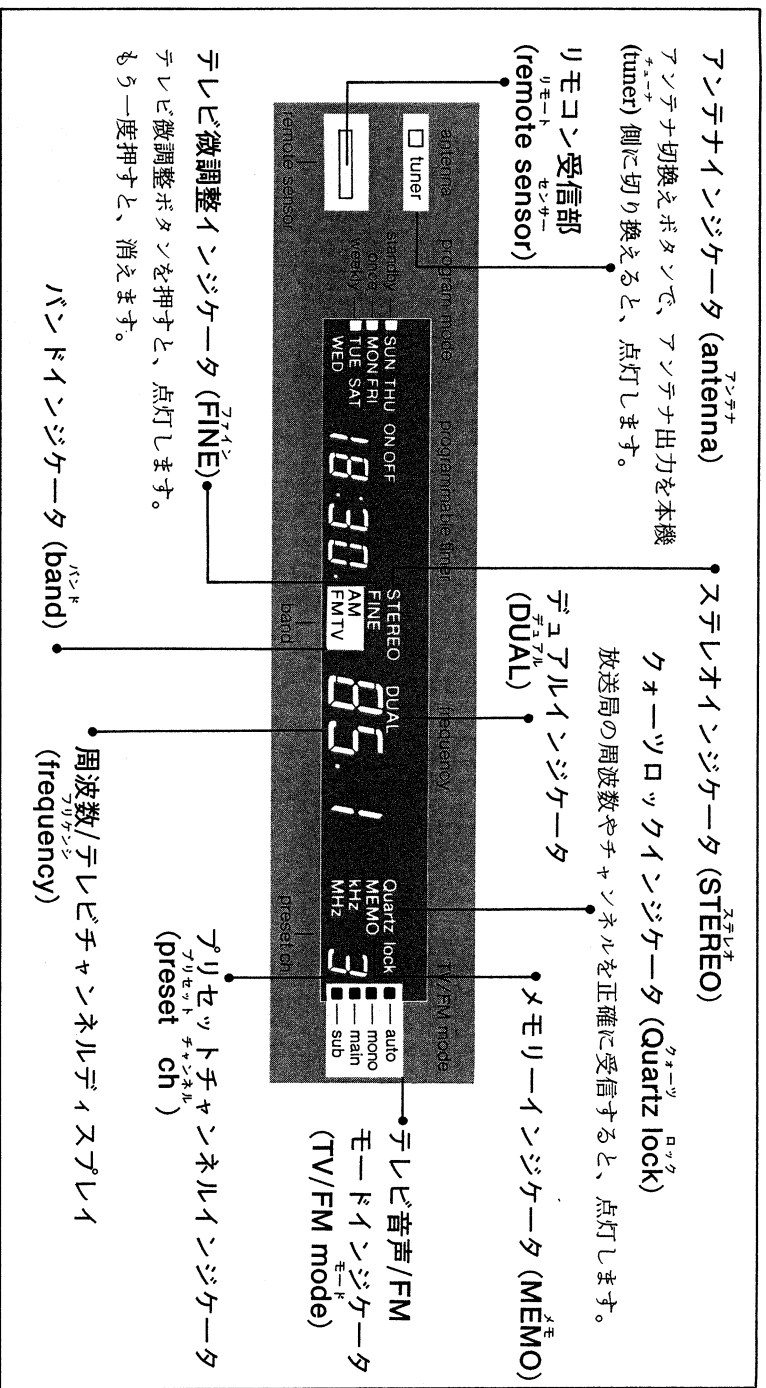
5~12m



# 各部のなまえとよからき

## チューナー部

(P.9～11 ページ)

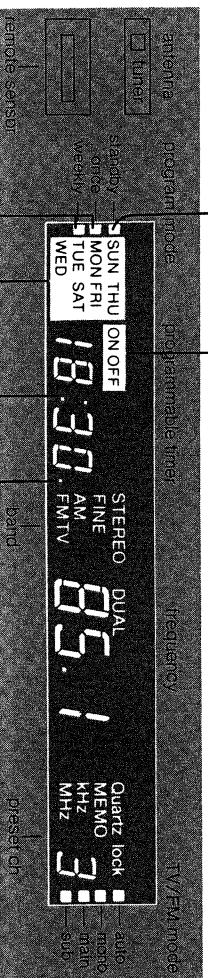


タイマースタンバイインジケータ  
(standby)

タイマーを予約すると点灯します。  
なお、予約を解除したり、一時的に解除した  
場合は消えます。

タイマーオン・オフインジケータ (ON/OFF)

タイマーの ON または OFF 時間を設定するとき点灯します。  
ON : 電源が入ることを表わします。  
OFF : 電源が切れることを表わします。



タイマーモードインジケータ  
(once, weekly)

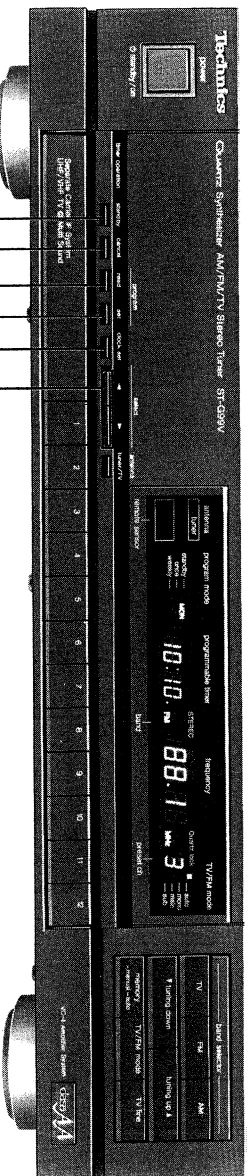
タイマー動作の種類 [「once」または  
「weekly」] を表わします。

曜日インジケータ

ドット

時計が動作しているとき点滅します。

時刻ディスプレイ



タイマー一時解除ボタン  
(standby)

タイマー予約を一時的に解  
除するとき 사용합니다。

タイマー設定モード解除  
ボタン (cancel)

時刻合わせやタイマー設定の  
操作を途中で誤ったときや、  
タイマー予約を解除するとき  
に使用します。

タイマーモード/時刻セレクトボタン (select)

時刻を合わすときや、タイマーを予約するとき、時刻設定ボタンやプログラム設定ボタン  
で切り換えた各項目 (曜日や時刻) について、お好みの曜日や時刻などを選びます。

時刻設定ボタン (clock set)

時刻を合わすときに使用し、押すごとに合わす項目 (曜日、時間、分) が切り換わります。

プログラム設定ボタン (program set)

タイマー予約をするときに使用し、押すごとに予約の項目 (タイマー動作の種類や曜日、  
時刻など) が切り換わります。

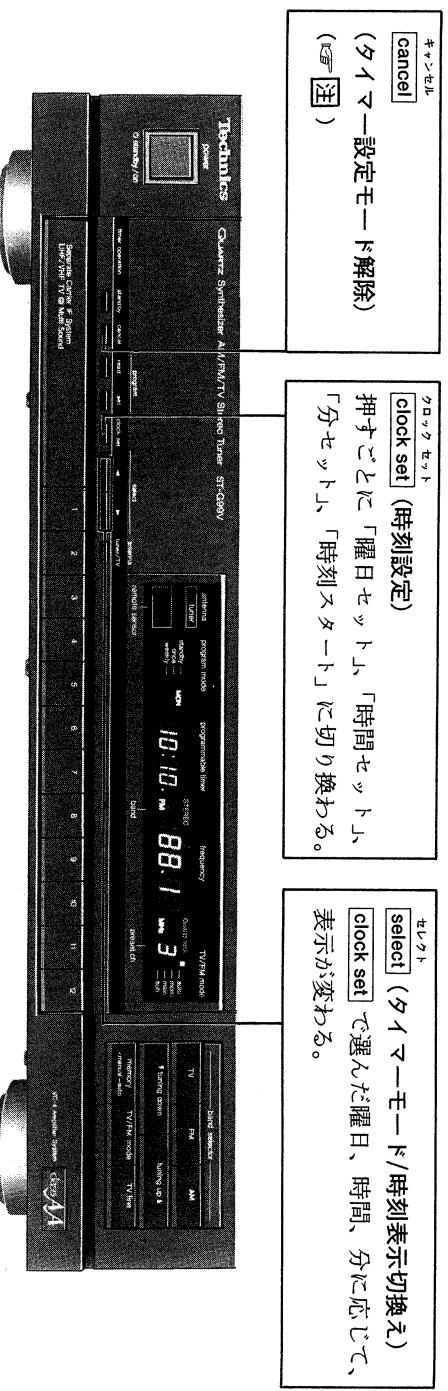
プログラム呼び出しボタン (program read)

予約内容を確認するときや、タイマー予約を一時的に解除するとき 사용합니다。

# 時刻を合わせるには

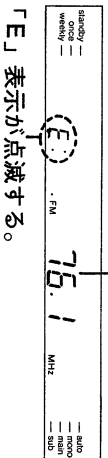
初めてご使用のときや、ご使用中停電になったとき、あるいは、本体の電源コードを抜いたとき、ディスプレイに「E:」が点滅します。

このときは、もう一度時刻を合わせるとともに、「放送局をメモリー（記憶）するには」(P.9 ページ)を行ってください。



例：月曜日の 15 時 30 分に合わせるとき

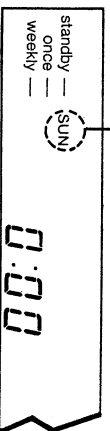
- 1 **power** を「on」にする。  
ディスプレイに周波数が表示される。



「E」表示が点滅する。

- 2 曜日を合わせる。  
① **clock set** を押す。

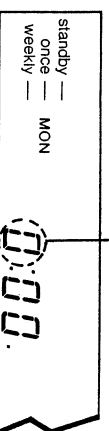
「曜日」表示が点滅する。



- ② **select** で曜日を選ぶ。  
押すごとに曜日が変わる。  
▶ SUN → MON → TUE .....  
▶ SUN → SAT → FRI .....

- 3 時間を合わせる。  
① **clock set** を押す。

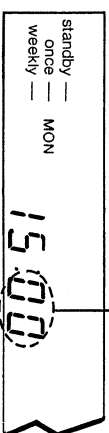
「時間」表示が点滅する。



- ② **select** で時間を合わせる。  
押すごとに時間が変わる。  
▶ 0 → 1 → 2 .....  
▶ 0 → 23 → 22 .....

- 4 分を合わせる。  
① **clock set** を押す。

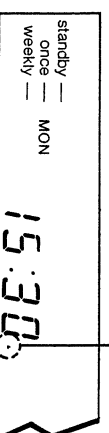
「分」表示が点滅する。



- ② **select** で分を合わせる。  
押すごとに分が変わる。  
▶ 00 → 01 → 02 .....  
▶ 00 → 59 → 58 .....

- 5 時刻をスタートさせる。  
**clock set** を押す。

「ドット」表示が点滅し、時刻がスタートする。



電源を切ったあと時刻は表示されます。

正確に合わせるには  
時報 (117 に電話) などに合わせて **clock set**  
を押す。

■途中で操作を誤ったときは

**clock set** を押し、やり直したい「曜日」、または、「時間」、  
「分」、を選び、**select** で正しく合わせます。

**注** 時刻合わせの途中で、電源を切るなど、他の操作は  
できません。この場合は、**cancel** を押してから行  
ってください。  
なお、時刻は、押したときの表示内容からスタート  
します。



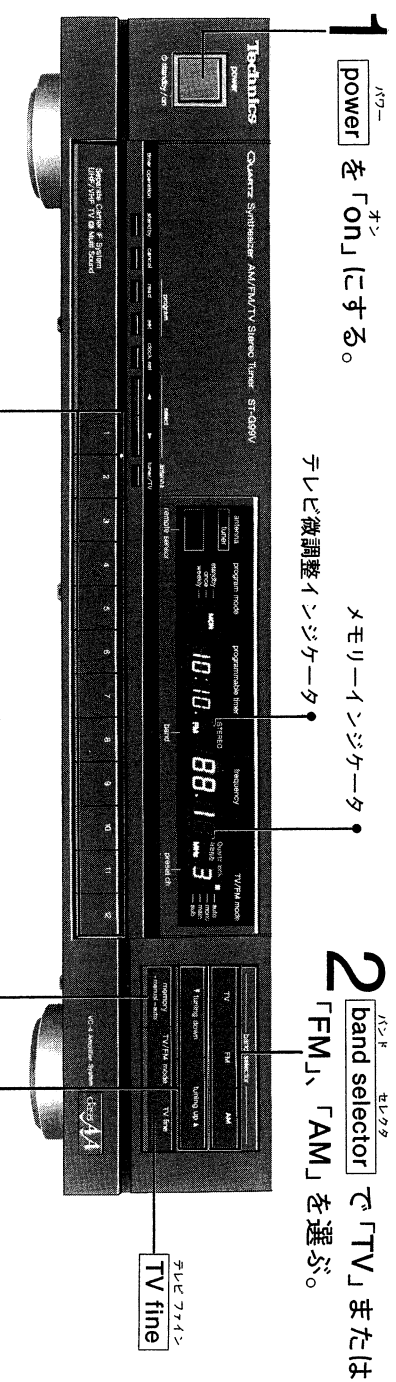
# 放送局をメモリー(記憶)するには

1つのボタンでテレビ、FM、AMそれぞれ1局ずつメモリーできます。後はボタンを押すだけで、お好みの放送局を簡単に選べます。メモリーするには、オートメモリーとマニュアルメモリーの2つの方法があります。お好みに応じてご使用ください。

## 放送局を自動的にメモリーするには(オートメモリー)

メモリーボタンを1度押すだけで、低い周波数から順にメモリーできます。

FMやAMを聞いたり、テレビ番組を見ながらメモリーするときは、まず10~11ページの操作を参照してメモリーしてください。



1 **power** を「on」にする。

メモリーインジケータ  
テレビ微調整インジケータ

2 **band selector** で「TV」または「FM」、「AM」を選ぶ。

5 **presets** プリセットチャンネルボタンを押して、メモリーされた放送局を確かめる。

メモリーした放送局は、メモリースタートに記入しておくと便利です。(☞ 11ページ)

4 **memory** を押し続け、周波数が変わると離す。

自動的に選局を始め、局が見つかると周波数の変化が止まり、メモリーします。(終わると最後にメモリーした周波数と、そのプリセットチャンネルを表示します。)

6 **channel** 手順2~5を繰り返して、好みの局をメモリーする。

チャンネルや周波数の合わせかた

• 自動で合わすには(オートチューニング)

**tuning** を押し続け、周波数が変わると離す。

(局が見つかると周波数の変化が止まる。)

注：希望の局の周波数表示で止まらないときは、マニュアルチューニング(右記参照)で合わす。

• 手動で合わすには(マニュアルチューニング)

① **tuning** を押し続け、周波数が変わると離す。

② 希望の局の周波数の近くで **tuning** を押す。(変化が止まる。)

③ **tuning** をポンポンと押し続けて合わす。

## 放送局をお好みのチャンネルにメモリーするには(マニュアルメモリー)

1 「オートメモリー」の手順1~2を行う。

2 **tuning** で希望の局に合わす。

3 **memory** を軽くポンと押す。  
メモリーインジケータが点灯する。

注：押し続けると周波数に変化し始め、「オートメモリー」の動作になります。この場合は、もう一度手順2からやり直してください。

4 **memory** メモリーしたいプリセットチャンネルボタンを押す。  
メモリーインジケータが消え、メモリーされる。

テレビ画面が不鮮明な場合は(手順2)――

1. **TV fine** を押し、  
(テレビ微調整インジケータが点灯する。)
2. **tuning** できれいな画面が映るよう調整し、
3. 再び、**TV fine** を押す。  
(テレビ微調整インジケータが消える。)

注 1. すでにメモリーされているプリセットチャンネルにもう一度メモリーすると先にメモリーされている局は消えます。

2. AMループレジスタを接続しないとAM放送は受信できません。(接続は、☞ 5ページ)

3. 電波が弱い場合は、自動ではメモリーされないことがあります。この場合は、マニュアルメモリーで行ってください。

# テレビ/FM/AMを楽しむには

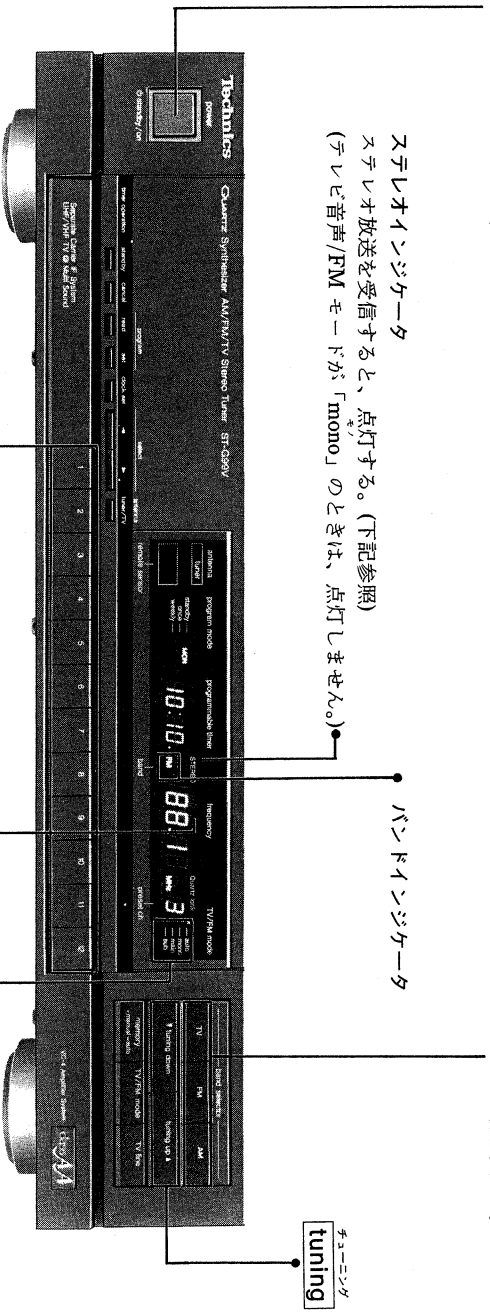
本機では、テレビ番組 (1~62 チャンネル) を迫力あるハイフライサウンドでお楽しみいただけます。さらに、本機のプリセットチャンネルボタンで、音声と映像を同時に切り換えることができます。

## テレビの音声や FM、AM を楽しむには

1 アンテナを操作し、テレビや FM、AM を聞く状態にする。

2 **power** を「on」にする。

3 「TV」または「FM」、「AM」を選ぶ。



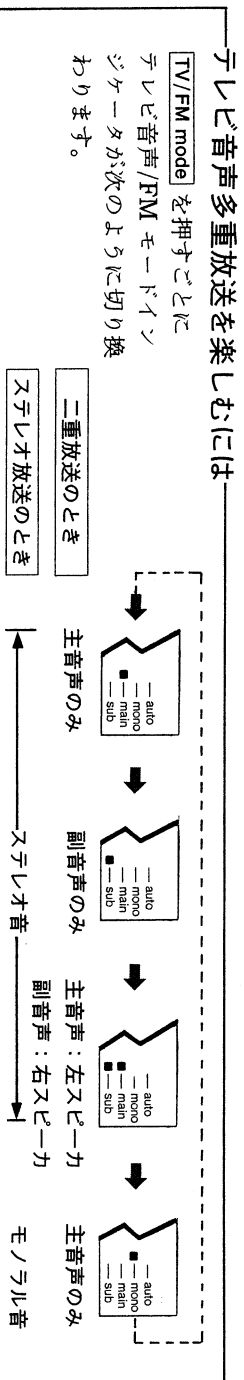
ステレオインジケータ  
ステレオ放送を受信すると、点灯する。(下記参照)  
(テレビ音声/FM モードが「mono」のときは、点灯しません。)

バンドインジケータ

チャンネル  
tuning

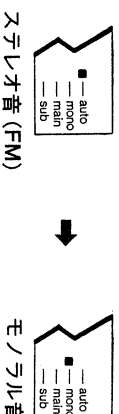
4 希望のプリセットチャンネルボタンを押す。  
メモリーしていないときは、**tuning** で選局する。  
(**9** ページ)

デュアルインジケータ (DUAL)  
テレビの二重放送を受信すると、点灯する。(下記参照)  
(テレビ音声/FM モードが「mono」のときは、点灯しません。)



### 雑音が多いとき

- FM のステレオ放送で雑音が多い場合は、**TV/FM mode** を押して、モノラル受信に切り換える。



- 注**
- FM や AM を聞いているときに雑音が出る場合は、CD プレーヤやテレビ、ビデオデッキの電源を切ってください。
  - テレビや FM を聞いているときに雑音が出る場合は、テレビや FM の屋外アンテナの設置をお勧めします。(4、5 ページ)

メモリーシート(メモリー)した放送局を記入しておく(と便利です。)

バンド	チャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
T	V												
F	M												
A	M												

## テレビの映像をハイフレイサウンドで楽しむには

## テレビだけで楽しむには

### 映像端子付テレビの場合は

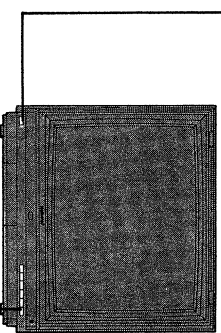
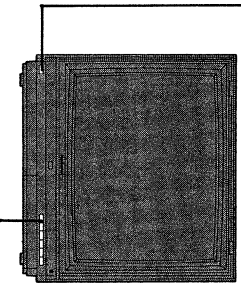
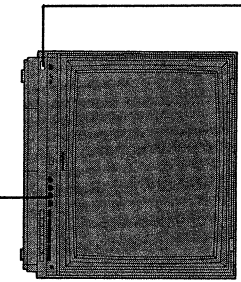
### 映像端子のないテレビの場合は

### 本機の電源を切っているとき

- 1 テレビの電源を「入」にし、  
音声を絞る。

- 1 テレビの電源を「入」にし、  
音声を絞る。

- テレビの電源を「入」にし、

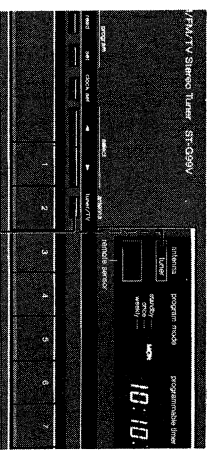
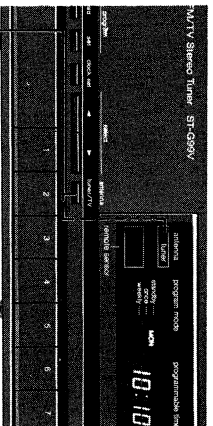


- 「テレビ/ビデオ/RGB 切  
換えボタン」がある場合  
は、「ビデオ」にする。

- 放送のない空チャンネル  
(CH1 か CH2) に合わせ。

- チャンネルを選ぶ。
- 本機の電源を入れているとき

テレビのビデオ入力端子が、2系  
統以上ある場合は、本機(または  
アンテナ)と接続した端子と合わ  
ず。(例：テレビ後面の「ビデオ  
入力1」端子に接続した場合は、  
「ビデオ入力1」を選ぶ。)



## 2 左ページの手順 1~4 の操作 を行う。

## 2 左ページの手順 1~4 の 操作を行う。

- 1 **antenna** を「**TV**」にする。  
アンテナインジケータ「tuner」  
が消えるように押す。

アンテナ

- 3 **antenna** を「**tuner**」にする。  
アンテナインジケータ(「tuner」)が  
点灯するように押す。

## 2 テレビの電源を「入」にし、 チャンネルを選ぶ。

テレビアンテナ出力が本機(tuner)  
側に切り換わり、本機で選んだ番組  
を見ることが出来ます。

この方法では、FM 放送を録音しながら、  
テレビ番組を楽しむなど、本機とテレビ  
で別々のソース番組を楽しむことができ  
ます。

### — ナショナルのコントロール 端子付テレビをご使用の場合 (テレビの主電源を「入」にする。)

- パンドセレクタを
- 「TV」にすると、テレビ画面が映り、
- 「FM」、「AM」もしくは本機の電  
源を切ると、テレビ画面が消えま  
す。(P4 ページ)

### — 本機で選んだテレビ番組が 映らない場合は

本機後面の「チャンネル切換えス  
イッチ」を、放送のない空きチャンネル  
(CH1 か CH2) に合わせているかを、  
確かめてください。



**注** テレビのスピーカで音声を聞く  
とき、チャンネルの切り換えを  
本機側で行うと雑音が出ること  
があります。  
このときは、次のいずれかの方  
法で操作してください。  
● テレビの音量を絞る、オーデイ  
オシステムのスピーカで聞く。  
● 本機の **antenna** をテレビ(TV)  
にしてチャンネルの切り換え  
をテレビ側で行う。

- 注**
- 1 テレビの説明書もご覧ください。
  - 2 テレビに色ムラが出る場合は、テレビと本機またはスピーカの距離を離してください。

# タイマーの使いかた

まず、8ページの「時刻を合わせには」と10～11ページの「テレビ/FM/AMを楽しむには」を行ってください。

## ■タイマー動作の種類

**ON<sup>ス</sup>ce** : 一週間以内の、好みの曜日・時刻に電源を「ON<sup>ス</sup>」、**OFF<sup>ス</sup>**します。留守中に録音するのに便利です。

(1度動作すると、予約は解除されます。)

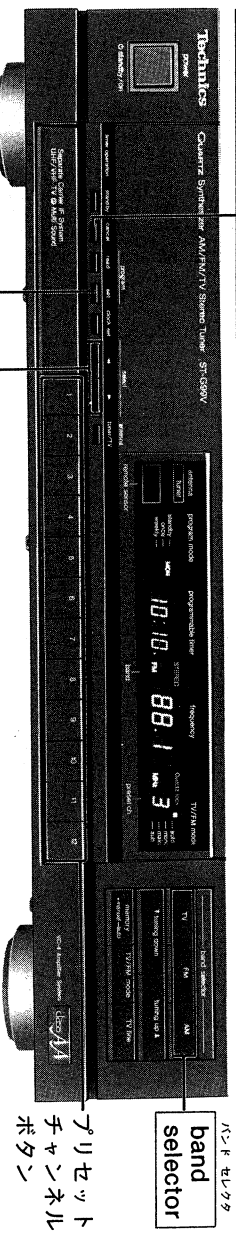
**weekly** : 毎週同じ曜日(日曜～土曜のいずれか1日)

● 毎日(日曜～土曜)

● 土、日を除く毎日(月曜～金曜)

のいずれかお好みの時刻に電源を「ON<sup>ス</sup>」、**OFF<sup>ス</sup>**します。毎日、同じ番組を聞いたり、録音するのに便利です。(解除するまで予約されています。)

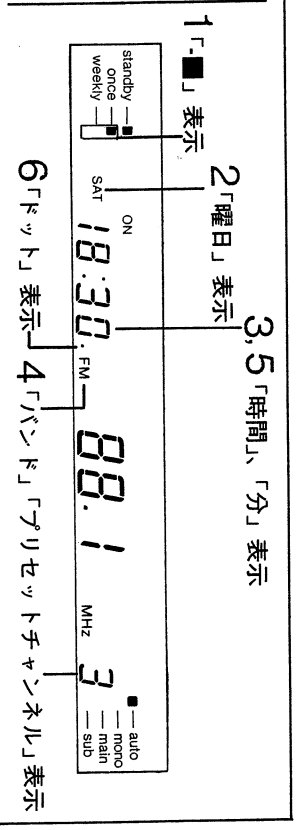
**タイマー予約をするには** 土曜日の18時30分から21時まで、FMの3chを聞く場合を例に説明しています。



**キャンセル**  
**cancel** : 途中で操作を誤ったときや、止めるときに押す。  
タイマー動作が解除され、現在時刻表示に戻り、タイマーは予約されません。

## 操作の概要

- ① **set** : セット  
押すごとに、右の表示が点滅します。曜日や時刻など合わせ項目を点滅させます。
- ② **select** : セレクト  
点滅中に、好みの曜日や時刻などに合わせます。
- ③ 上記の①②を繰り返し、予約します。



## 1 タイマーの種類を選ぶ。

- ① **set** を押す。
- ② **select** を押し、「once」を選ぶ。

## 2 曜日を合わせます。

- ① **set** を押す。(「曜日」表示が点滅する。)
- ② **select** を押し、「SAT」(土曜日)を選ぶ。
  - 「once」のとき：SUN、MON、TUE…各曜日に、
  - 「weekly」のとき：SUN、MON…各曜日、毎日、土日を除く毎日に、切り換わる。

## 3 電源を入れる時刻を合わせます。

- ① **set** を押す。(「時間」表示が点滅する。)
- ② **select** を押し、「18」に合わせます。
- ③ **set** を押す。(「分」表示が点滅する。)
- ④ **select** を押し、「30」に合わせます。

## 4 聞きたい放送を選ぶ。

- ① **set** を押し、「band selector」で「FM」を選ぶ。
- ② **set** を押し、「プリセットチャンネルボタン」の「3」を押す。

## 5 電源を切る時刻を合わせます。

- ① **set** を押す。(「ON」をセットした時刻の1時間後が自動的に表示される。)
- ② **select** を押し、「21」に合わせます。
- ③ **set** を押す。(「分」表示が点滅する。)
- ④ **select** を押し、「00」に合わせます。

## 6 タイマーをスタートさせる。

- ① **set** を押す。(「ボット」表示が点滅する。)
- タイマー予約が完了し、周波数と現在時刻表示に戻る。

## 7 アンテナの入力切換えスイッチや、音量、音質を調整し、本機の電源を切る。

**注** タイマー予約をしているときに、電源を切る、またはFMを聞くなど他の操作をするときは、**cancel** でタイマー操作を解除してから行うてください。

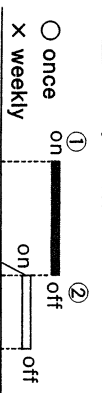
## ■ タイマー動作の優先順位

同じ時刻や時間帯に「once」<sup>ワンタイム</sup>と「weekly」<sup>ウィークリー</sup>が重なって予約されている場合は、「once」が優先されます。(番号順に動作します。)

【例1】 weekly が途中で停止する。

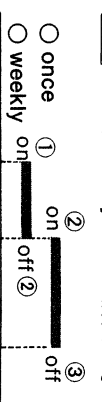


【例2】 weekly は動作しない。



■ : タイマー機能が動作している状態  
□ : タイマー機能が動作していない状態

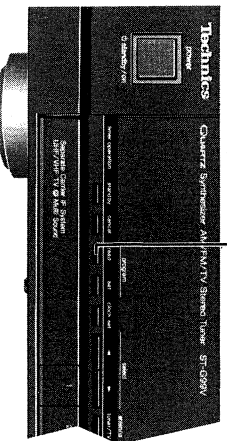
【例3】 once、weekly とともに動作する。



「once」の「on」が優先されるため、動作しない。「once」の「off」が優先されるため、動作しない。

## 予約内容を確認するには

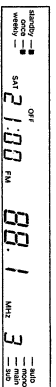
電源を入れ、**read** を押す。



**read** を押すごとに、予約の内容が切り換わる。

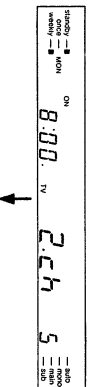


切れる時刻

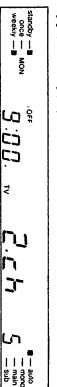


**weekly** の

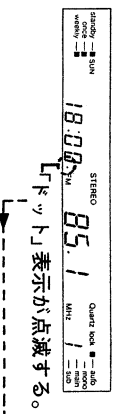
電源が入る時刻



切れる時刻



現在時刻

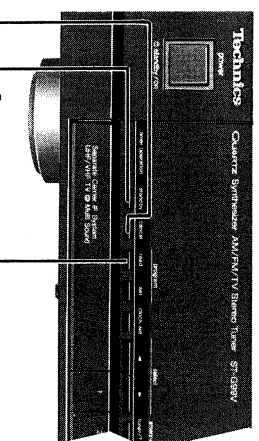


【注】

1. 予約していない場合も、上記の順に切り換わります。
2. 表示内容を確認中に、電源を切るなど他の操作はできません。  
[cancel] を押し、現在時刻表示に戻してから操作してください。

## 予約を解除するには

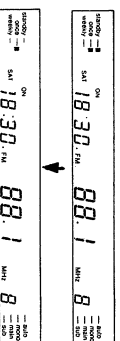
一時的に解除するには



- 1 電源を入れ、**read** を押す。  
押すごとに、予約の内容が左図のように切り換わり、解除したいタイマー予約（「once」または「weekly」）を選ぶ。

## 2 予約内容確かめて「standby」を押す。

タイマー予約が解除され、スタンバイインジケータが消える。

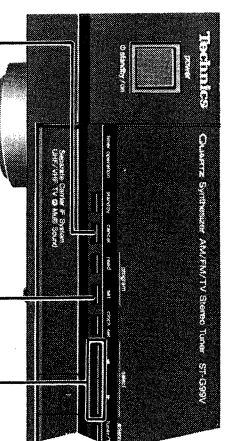


「ON」、**OFF**」どちらの表示で「standby」を押しても、タイマー予約の内容は、一時的に解除されます。

## 3 キャンセル「cancel」を押す。

タイマーの予約内容は、メモリーされたままです。現在時刻表示に戻る。

予約を取り消すには



- 1 電源を入れ、**set** を押す。

## 2 select で「once」または「weekly」を選ぶ。

現在時刻表示に戻り、タイマー予約は解除される。

## 3 cancel を押す。

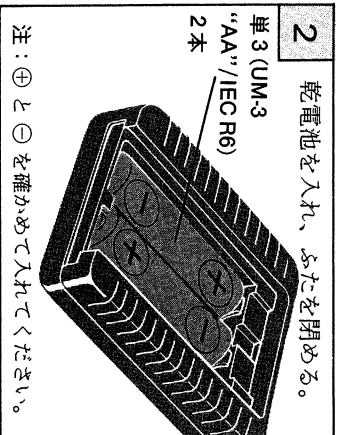
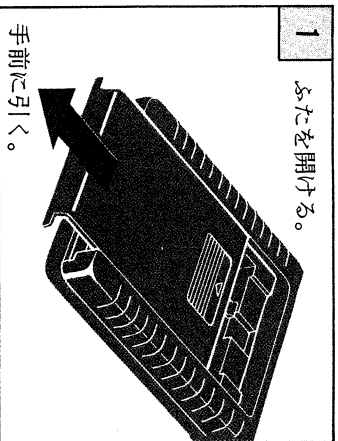
■再びタイマーを動作させるには、もう一度 **read** を押し、**standby** を押し、**cancel** を押し。  
(スタンバイインジケータが点灯し、現在時刻表示に戻る。)



# リモコン発信器について

## 電池について

■乾電池を入れるには (乾電池の寿命は約1年です。リモコンを本体の近くで操作しても動かないときは、交換してください。)



■乾電池使用上のご注意

- 破損、液漏れの恐れがありますので、次のことは必ずお守りください。
- 古い乾電池と混用しない。
  - 違う種類を混用しない。
  - 使えなくなった乾電池は、取り出し、処分する。
  - 充電やショート、分解、加熱、火の中への投入などをしてない。
  - 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

## 各部のなまえ (品番：EUR64410)



- 電源スイッチ (power)
- アンテナ切換えボタン (antenna)
- テレビ音声/FMモード切換えボタン (TV/FM mode)
- プリセットチャンネルボタン (1~12)
- バンドセレクタ (TV/FM/AM)

各ボタンのほたらきは、本体のつまみと同じです。(P.6ページ)

## 使用上のご注意

1 リモコン受信部にまっすぐ向ける。

2 受信角度は約60度、7メートル以内でご利用ください。

3 ほこりが多いと、正しく送信されない場合があります。

4 リモコン受信部に、直射日光や強い光があたると、誤動作する場合があります。この場合には、直射日光などを避けて設置するか、照明器具を遠ざけてください。

# 定格

## TV チューナー部

受信チャンネル	
VHF :	1~12 チャンネル
UHF :	13~62 チャンネル
実用感度 :	20.8dBf (3.0 $\mu$ V IHF*58)
全高調波歪率	mono : 0.2%
	stereo : 0.3%
ダイナミックレンジ :	96dB
クロストーク	
MAIN → SUB (1kHz) :	55dB
SUB → MAIN (1kHz) :	55dB
ステレオセパレーション :	45dB (1kHz)
テレビジョン方式 :	日米標準方式
アンテナ端子	525 本 60 フォールド
VHF/UHF IN :	75 $\Omega$ 不平衡
VHF/UHF OUT :	75 $\Omega$ 不平衡
映像出力端子 :	1.0Vp-p/75 $\Omega$

## FM チューナー部

受信周波数帯 :	76.1~89.9MHz
実用感度 :	10.3dBf (0.9 $\mu$ V IHF*58)
50dB (S/N) 感度	
mono :	18.1dBf (2.2 $\mu$ V IHF*58)
stereo :	38.1dBf (22 $\mu$ V IHF*58)
全高調波歪率	mono : 0.009%
	stereo : 0.015%
ダイナミックレンジ :	106dB
周波数特性 :	4Hz~18kHz $-0.2$ dB
実効選択度 ( $\pm 400$ kHz) :	40dB
キャプチャア・レシオ :	1.0dB
イメージ妨害比 (83MHz) :	90dB
IF 妨害比 (83MHz) :	105dB
スプリアス妨害比 (83MHz) :	110dB
AM サザレッション :	55dB
ステレオセパレーション :	65dB (1kHz)
リークキャリア :	50dB (10kHz)
アンテナ端子 :	-70dB (19kHz)
	75 $\Omega$ (不平衡型)

## AM チューナー部

受信周波数帯 :	522~1629kHz
実用感度 (S/N 20dB) :	20 $\mu$ V、290 $\mu$ Vm
選択度 ( $\pm 9$ kHz) :	50dB
イメージ妨害比 :	40dB
IF 妨害比 :	60dB

## タイマー部

クロック機能 :	クォーツクロック方式
	24 時間表示
時間精度 (25℃) :	月差 $\pm 10$ 秒以内

## 総合

出力電圧 :	0.6V
消費電力 :	14.5W
	6W (電源「off」時)
電源 :	AC 100V、50Hz/60Hz
寸法 (幅×高×奥行) :	430×93.5×282mm
重量 :	3.8kg

# アフターサービスについて

## ■保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間です。

## ■修理を依頼される時

裏表紙の「故障!?'と思うまえに」に従って調べていただき、直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。

## ●保証期間中は

お求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って、販売店で修理させていただきます。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障または異常の内容
- 訪問ご希望日

## ●保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、ご相談ください。修理すれば使用できる製品について

# 手入れについて

柔らかい布でふきとってください。ひどい汚れは、薄い石けん水に柔らかい布を浸し、固く絞ってふきとった後、乾いた布でふいてください。

■補修用性能部品の最低保有期間  
本機の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。

■アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別紙ご参照) にお問い合わせください。

ステレオ音のエチケット——  
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク

# 故障!?!と思えに

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お求めの販売店にご相談ください。

症状	主な原因	処置
<b>FM 放送のとき</b> プリセットチャンネルホルダで選局できない。	放送局がメモリーされていない。	放送局をメモリーする。 (☞9 ページ)
FM ステレオ放送のとき、モノラル放送に比べ、雑音が多い。	FM ステレオ電波はモノラル電波に比べ、ノイズが出やすい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナの高音調整つまみで、高音部を下げてみる。</li> <li>テレビ音声/FM モード切換えボタンを押し、モノラルモードにする。</li> </ul>
ステレオインジケータが完全に点灯しない。	アンテナの設置場所や向きが不相当。送信所が遠い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易型アンテナの場合は、専用アンテナに替える。</li> <li>専用アンテナの場合は、設置場所、高さ、向きを変えてみる。</li> <li>素子数の多いアンテナに替える。 (☞4 ページ)</li> </ul>
ステレオ放送で音にひずみが多い。	近くにビルや山がある。[送信所からの電波(直接波)とビルや山に反射した電波(反射波)との干渉により、ひずみが生じる]	CD プレーヤの電源を切る。
ピーク音が入る	CD プレーヤと同時に使用している。	
<b>AM 放送のとき</b> ピーク音が入る。	テレビやレコーダプレーヤ、CD プレーヤと同時に使用している。	テレビやレコーダプレーヤ、CD プレーヤの電源を切る。またはテレビとの距離を離す。
ハムノイズが入る。	アンテナ線が電源コードに近い。	アンテナ線と電源コードを離す。
放送局が受信できない。	AM ルーゾフアンテナを接続していない。	AM ルーゾフアンテナを接続する。(☞5 ページ)
<b>テレビ放送のとき</b> 映像が不鮮明。	本機後面のアンテナ線が正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続を確かめ、正しく接続する。(☞5 ページ)</li> <li>室内アンテナの場合は屋外アンテナに替える。</li> <li>テレビ微調整ボタンを押し、選局ボタンで微調整する。(☞9 ページ)</li> </ul>
	アンテナが不適切。	「TV」(テレビ)にする。(☞11 ページ)
	アンテナ切換えボタンが「tuner」(本機)になっている。	テレビとスピーカを離す。
	テレビとスピーカが接近しすぎている。	
<b>タイマー動作のとき</b> タイマーが動作しない。	タイマースタンスバイインジケータが消えている。	タイマー一時解除ボタンを押し、インジケータを点灯させる。(☞13 ページ)
	「E」表示が点滅している。	時刻合わせ(☞8 ページ)と、放送局のメモリー(☞9 ページ)をやり直す。
<b>リモコン操作のとき</b> リモコン操作ができない。	乾電池の極性が正しく向いていない。	乾電池の極性(⊕、⊖)を正しく入れる。
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換する。
	発信器と受信部間に障害物がある。	障害物を取り除く。
	発信器が受信部に正しく向いていない。	発信器を受信部に正しく向けて使用する。

## 便利メモ

(おぼえのため、記入されると便利です。)

ご購入名	ご購入日	年	月	日
店名	年月日			
最寄りのご相談窓口	番			
				ST-G99V

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎ (06) 909-1021

SCF20820-1  
H0587G3107